

千代田界隈のレトロな風景



みんなの本棚

みどりの風



2025.2.1
-NO.317

人・ひと日記

小林 功

発行 社会福祉法人 悠朋会
相模原市中央区千代田2-4-1
千代田デイサービスセンター
042-751-0672
ヘルパーステーション千代田
042-704-0261
千代田介護支援センター
042-704-0281
児童クラブ いちばん星
042-704-1588
デイズ千代田
042-707-4840

ホームページアドレス

www.yuhokai-kaigo.com

昨年上半年期での警察取り扱いの「自宅において死亡した独り暮らしの者」は総数で37227件。このうち発見までの日数は「1日以内」のケースは14775件。「2〜3日」のケースは7380件で孤独死の多くは3日以内に発見されていると言えます。しかし「8〜14日」では3266件。「15日〜30日」では3234件。「31日〜90日」では2927件と長期間発見されないケースも非常に多いと言えます。更に注目すべきは全体の75%が65歳以上で85歳以上は7500件に上っていることです。高齢者の孤独死が問題となっていることが再確認されるところでしよう。高齢化の進行の中で地域の見守り活動が重要視されることであり、緊急時に助けを呼べない高齢者を想定した見守り活動を地道に続けていくことが必要と思います。

しかし、見守る側の自治会への加入率の低下に見られるように互助意識の減退があり、一方見守られる側も地域から孤立化していく傾向が感じられます。

孤独死の遺体が発見までに長引くことによる周囲への影響を考慮すべきです。亡くなっても「3日以内に発見された人」は周囲との関係性があり、誰かが気にかけて、安否確認してもらえ人だつたと見えるのではないのでしょうか。

阪神淡路大震災の時、生存者は消防・警察・自衛隊等ではなく家族や近所の助け合いによって命が助かった割合が77%もあったという教訓が伝えられています。日頃から身近なところに地域との接点を持つ努力は自分のためにも見守る人のためにも必要なことだと思います。

七丁目センターの無料休憩所「喫茶去7」には「持込み自由・持ち出し自由」の図書コーナー「みんなの本棚」が設けてあります。ゼロからスタートし、少しずつ増えてきて現在では300冊程度になっています。小説、コミック、絵本、スポーツ、芸能、絵画、写真、映画、音楽、料理、健康、介護、昭和の写真集・・・いろいろな人がいろいろなジャンルを持ち込んでくれますので内容は多岐にわたっています。あえて分類もしていません。棚の前に立ち無心でながめてみてください。思いがけない宝物が見つかるかもしれません。

千代田デイサービス 餅つき大会



1月2日に毎年恒例の餅つきを行いました。
 周りの方々の掛け声とともに、利用者とスタッフが
 代わる代わるに「ぺったん、ぺったん」と楽しみながら
 杵で餅をつかれています。
 「つきたての餅はやっぱり旨い。餅はつきたてに限る。」
 などの声が聞かれ、あんこ・きな粉・大根おろしの
 3種類の味を舌鼓を打ちながら思う存分食べられ
 皆さん大満足。
 一年の始まりに沢山の笑顔に囲まれとてもいいスタートと
 となりました。
 また今年もいい一年になるよう一緒に楽しんで
 行きましょうね。



- 節分 3日(月)
- 紙芝居 11日(火)
- 書道 13日(木). 18日(火). 24日(月)
- ふたば園 10日(月). 12日(水)
- 体重測定 3日(月)~9日(日)
- 誕生会 22日(土)~28日(金)



きっさこ 喫茶去7活動のご紹介

千代田7丁目センターでは、悠朋会を広く知っていただくための試みとして、喫茶去7やデイズ千代田のフロアをイベント会場として活用し、地域の皆様に楽しんでいただく場を設けております。

♪ こけ丸バンドライブ

当日は、席を急遽増設するほど喫茶去7に多くの方々がお越しになりました。一緒にリズムに乗り、歌って笑っての1時間。ウクレレ、ベース、アコーディオンにキーボードなどの演奏で昭和歌謡を歌とともに繰り広げ、懐メロクイズに漫談もあり、あっという間の楽しいひとときでした。帰り際の皆様の生き生きとされた笑顔はこのようなイベント開催の醍醐味です。



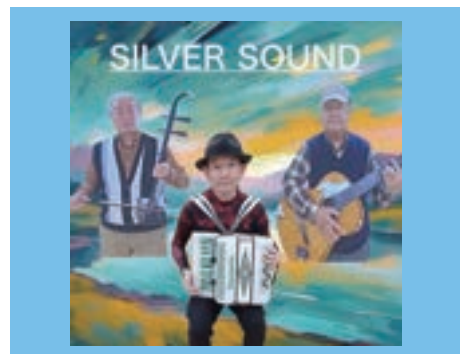
♪ ハンマーダルシマーアンサンブルコンサート

クリスマスに相応しい美しい音色がデイズ千代田のフロアいっぱいにはびこりました。「ハンマーダルシマー」という「ピアノの先祖」ともいわれる打弦楽器を魔法のように操るアンサンブルトリオ『サンダルズ』のみなさんの絢爛豪華な演奏と巧みなトークでコンサートは大盛況のうちに終わることができました。



♪ シルバーサウンドライブ

2月にはシルバーサウンドの「昭和歌謡で元気100倍！」ライブを開催致します。中国の楽器「二胡」によるボランティア演奏活動も行っている本間茂司さんの企画でアコーディオンなどの楽器とともに昭和歌謡を歌とともに楽しくお届けします。当日は『高校三年生』『高原列車は行く』『夜来香』などを含め数多くの楽曲を披露致します。



日時：令和7年2月24日(月) 13:30~14:30 開場:13:00
会場：社会福祉法人悠朋会 千代田7丁目センター 喫茶去7



デイズ千代田では要介護の方のみならず要支援の方の利用も推進しています。要支援利用者さまは「もう少しで成し遂げられるのに!」「これが出来れば!」という思いを目標に換えて、ある程度の期間を設けて目標達成、「卒業」に向けてリハビリを行っていきます。2024年の7月に始まったデイズ千代田ですが、12月末に無事に「卒業」を迎えられた利用者さまがいっぱいなので紹介いたします。

70代の男性の利用者さま。サクソとトランペットをご趣味で持たれていましたが、町田駅にある教室まで通うのに「重い楽器をもって階段を登れないと遠回りをしないといけない。」「立った状態での演奏が5分も持たない。」という課題があったので、「階段昇降」と「立位バランスと持久性」をテーマに週に1回の利用でデイズでリハビリを行い、自主トレーニングや自宅でのお過ごし方を指導しました。

通われている教室主催の演奏発表会があるということでデイズでのリハビリ以外の時間は個室にてご持参いただいたサクソやトランペットの演奏の自主トレーニングに励んでいただきました。ご本人の自主トレーニングの成果もあり、9月、10月に行われた演奏発表会では「5分の演奏時間も立って演奏できた!」と喜びの報告をいただきました。また12月までにも楽器を持って階段を使用しての教室の通学も安定してきたということで、晴れて「卒業」の運びとなりました。

最終日の12月25日はご本人発案で同じ曜日に利用している利用者さまの前で演奏を披露したいとお話をいただいたので細やかではありますが装飾もさせてもらって“クリスマスコンサート”を行いました。

デイズ職員のサクソ奏者である井島さんとのセッションや、理事長からのサプライズハーモニカ演奏もあり、担当の包括職員さんにも遊びに来てもらってとても良い会でご本人を送り出すことが出来ました。今後もご本人のやりたい! なりたい! に沿えるようなりハビリ支援を続けていきます☆

気になりましたら気軽に見学にいらしてください♪



★ 最近のカツオのたたき ★

刺身を切り分け、粗塩とゆずの皮を散らします。実家の食べ方です。(土佐の高知)
最近カツオのたたきは、マヨネーズ+醤油で食べるのが、漁師の食べ方だそうです。



おうちごはん
七軒目



デイズ千代田
井島厚子

